

表現文化学科 出版・編集コースのおすすめ資料

出版・編集コースでは、どのような資料が有効なのでしょう。出版・編集コースにおける、読んでおくべき資料・ツールをテーマ別にあげました。  
みなさんの学びの参考にしてみてください。

DTP

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『InDesign CS5 スーパーリファレンス:for Macintosh & Windows』井村克也，ソーテック社	2F 和開図書	021.49/IK-I	10+0274141	InDesign の使い方が全般的に分かる。大学の InDesign は最新版で画面が違うが操作は同じ。
『InDesign プロフェッショナルの教科書』森裕司，エムディエヌコーポレーション	2F 和開図書	M	98+0005176	ページ制作などの実際を想定した使い方が分かり、上記本より実戦的。
『組む。: InDesign でつくる、美しい文字組版』ミルキィ・イソベ，紺野慎一，ビー・エヌ・エヌ新社	2F 和開図書	M	98+0005172	上記本より本書は InDesign での文字組みに特化。文字組みは書籍作りの最重要課題。

デジタル・ネットのリテラシー

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『インターネット&Web の必須常識 100』WebSig24/7，ワークスコーポレーション	2F 和開図書	M	98+0005178	ネット系の会社で新入社員研修にも使われるとか。ネットやデジタルの全般が網羅的に分かる。
『ウェブ進化論：本当の大変化はこれから始まる』梅田望夫，筑摩書房	2F 和開図書	007.3/UM-U	10+0217183	文系でも読みやすい、ネットが社会に与える影響を考える入門書。
『からくりインターネット：アレクサンドリア図書館から次世代ウェブ技術まで』相澤彰子[ほか]，丸善	2F 和開図書	007.5/AA-K	10+0238317	インターネットの基礎技術を文系でもわかりやすく書いた本。

メディアリテラシー

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『メディア・バイアス：あやしい健康情報とニセ科学』松永和紀，光文社	3 F 和開図書	404.0/MW-M	10+0301446	科学的という名の下に紛れ込む「ウソ」をどう見極め、間違った情報を蔓延させないようにするには。
『歴史写真のトリック：政治権力と情報操作』アラン・ジョベール，朝日新聞社	2F 和開図書	209.7/JA-R	10+0300961	歴史において、いかに写真が政治的に使われてきたかを実感する本。

企画を考える

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『リクルート「創刊男」の大ヒット発想術』くらたまなぶ，日本経済新聞社	3F 和開図書	674.0/KM-R	10+0236120	ワークショップⅢの名物教授・くらたまなぶ先生の授業では語りきれない部分をこの本で知ろう。

写真

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『デジカメ時代の写真術』森枝卓士，日本放送出版協会	3F 和開図書	743.0/MT-D	10+0246652	写真の授業で大活躍の森枝先生。まずはこの本で写真のコツをつかむべし。
『「デジタルー眼レフ」プロ級写真の撮り方教えます』田中希美男写真・文，技術評論社	3F 和開図書	746.0/TK-D	10+0300952	雑誌に載っているきれいな写真。それがどう撮られているのかを知って、自分の写真に生かそう。

取材・調査

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『インタビュー術!』永江朗，講談社	3F 和開図書	809.5/NA-I	10+0133178	インタビューの方法に正解はないが、まずはその基本をこの本で確認しておこう。
『仕事(ワーキング!)』スタッズ・ターケル，晶文社	3F 和開図書	935.0/TS-S/*	10+0300959	数多くの在野の人へのインタビューである時代の姿が表現できることを示した名著。
『調べる技術・書く技術』野村進，講談社	3F 和開図書	901.5/NS-S	10+0212897	調べ、取材し、記事にすることのノウハウが詰まっている。この本を手本に自分流に発展させよう。
『読書の技法：誰でも本物の知識が身につく熟読術・速読術「超」入門』佐藤優，東洋経済新報社	2F 和開図書	019.12/SM-D	10+0300934	書物によって知識を得るとはどういうことなのか。実戦的読書による知的武装術。
データベース・Web ページ名	URL			ポイント
●聞蔵Ⅱビジュアル	http://database.asahi.com/index.shtml			※学内ネットワークに接続して利用してください。
●国立国会図書館サーチ	http://iss.ndl.go.jp/			キーワードにそって幅広く関連情報を集めるのに便利。
政府統計の総合窓口 e-Stat	http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do			統計データの宝庫。データの信頼性も高い。
●日経テレコン 21	http://t2lipau.nikkei.co.jp/ipauth/auth/auth?sid=1			経済情報に強い。日経新聞や日経 BP 社などの雑誌も検索できる。就活にも利用したい。 ※学内ネットワークに接続して利用してください。 また、図書館 1F レファレンスデスクで代行検索もできます。

出版・編集の総括

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『必修基礎知識：編集者・ライターのための：editor's handbook』編集の学校/文章の学校監修，雷鳥社	2F 和開図書	021.4/HK-T	10+0299798	編集者の基礎入門本。文章と図版のセットで解説しているので読みやすい。
『はじめての編集』菅付雅信，アルテスパブリッシング	2F 和開図書	021.4/SM-H	10+0255493	著者は新世代の編集者として注目の人。編集の可能性がどう広がっていくのか、その一端がわかる。
『本づくりの常識・非常識 第2版』野村保恵，印刷学会出版部	2F 和開図書	022.0/NY-H	10+0300942	本作りとしては古典的だが、こうした部分を踏まえると、本作りの疑問が理解しやすい。
『本の知識』日本エディタースクール編集，日本エディタースクール出版部	2F 和開図書	020.0/HT-I	10+0230270	編集者の基礎入門本。編集の基礎も実は多様。その中で本書はオーソドックス。薄い分、手元に置いて不明点をチェックするのに便利。
『エディトリアル技術教本』板谷成雄，オーム社	2F 和開図書	021.4/IS-E	10+0300951	DTP 以前の本作り、本作りの基本を知るのによい。編集者よりもデザイナー向けだが、編集者も知るべきことが多い。

出版のこれから

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『ぼくらの時代の本』クレイグ・モド，ボイジャー	2F 和開図書	023.04/MC-B	10+0300935	紙とはまったく違った電子書籍（アプリ）がどう作られるのか、を知る一例。従来の編集とはまた違った発想で新たな時代の本が作られることに注目。
『電子書籍の時代は本当に来るのか』歌田明弘，筑摩書房	2F 和開図書	023.0/UA-D	10+0251389	電子書籍の登場からその行方に関して、最近までの状況がとてもよく分かる。そうした変化を知ることナシには、新たな出版を考えることはできない。

出版業界研究

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『出版指標年報』全国出版協会，全国出版協会出版科学研究所	1 F 和参考書	023.1/SS-N/ 2015 他	10+0297827 他	年度版で、その年の出版界の動向がよく分かる。データ中心だが、分野別の解説があるので、この部分がとても参考になる。
『出版(最新データで読む産業と会社研究シリーズ)2016 年度版』植田康夫監修，二期出版	2F 和開図書	M	98+0005173	出版業界向け就活本。少々、脱線のところもあるが、一通りまとまっていて読みやすい。
『白書出版産業：データとチャートで読む出版の現在』日本出版学会編，文化通信社	B1A 和開図書	023.1/HS-S	10+0256963	出版関連データの読解には事前の知識が必要だが、本書では解説とデータがセットで読みやすい。
『ベストセラー・ライトノベルのしくみ：キャラクター小説の競争戦略』飯田一史，青土社	3F 和開図書	910.26/II-B	10+0266360	出版不況の中、売上を伸ばす「ライトノベル」。この秘密をマーケティング的に解き明かす。

書 名・著 者・出 版 社 など		所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『カッパ・ブックスの時代』新海均，河出書房新社		2F 和開図書	023.1/SH・K	10+0296233	現在のベストセラー書籍の原型を作ったのがカッパ・ブックス編集部。その編集部はいかにして生まれたのか。
『面白ければなんでもあり：発行累計 6000 万部：とある編集の仕事目録(ライフワーク)』三木一馬，KADOKAWA		2F 和開図書	B	98+0005443	ライトノベルでベストセラーを連発する編集者の体験的編集論。しかし、この読者本位の編集作法はプロとして本を作るなら、どの編集者にとっても共通するものだ。
『舟を編む』三浦しをん，光文社		3F 和開図書	913.6/MS・H	10+0300939	編集の中でも特殊な辞書編集の世界。それをリアルに伝え、楽しく読める小説。
『本の未来をつくる仕事／仕事の未来をつくる本』内沼晋太郎，朝日新聞出版		2F 和開図書	024.0/US・H	10+0228633	本に関わる新たな仕事を生み出した著者の発想と体験がまとまった一冊。就活本としても読める。
『どすこい出版流通』田中達治，ポット出版		2F 和開図書	024.1/TT・D	10+0300937	出版を陰で支える流通を現場から実感できる本。出版の仕事は編集者だけでは成立しない。
雑 誌 名・発 行 元	所在場所	請求記号	所蔵巻・所蔵年	ポイント	
『新文化』新文化協会	B1B 和開雑誌	053.6/E1	Vol.4 No.1・8<1938(S.13)>	週刊出版業界紙。記事を拾い読みすることで、いま出版業界で何が起こっているのかが実感できる。	

## 出版史

書 名・著 者・出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント	
『書物の歴史』エリック・ド・グロリエ，白水社	B1A 和開図書	020.2/GE・S	00+0005738	西欧の書物の歴史を書いた古典。	
『戦後出版史：昭和の雑誌・作家・編集者：戦後出版界 40 年の興亡史』塩澤実信，論創社	2F 和開図書	023.1/SM・S	10+0253031	日本の戦後出版を知るためのお勧め本。書籍や雑誌を作り上げたドラマチックな人物の数々。	
『日本雑誌協会日本書籍出版協会 50 年史：1956→2007：50』 『50 年史』編集委員会編集，日本書籍出版協会	2F 和開図書	023.1/NZ・K	10+0319325	最近の出版界の動向は『出版指標年報』でよく分かるが、それを全部読むのはたいへんだ。しかし、本書を読めば、戦後日本の出版史のかなり細かい部分まで分かる。さらに詳しく知りたい場合にその年度の『出版指標年報』を読むといいだろう。 ※日本書籍出版協会 HP で web 版も公開しています。 <a href="http://www.jbpa.or.jp/nenshi/top.html">http://www.jbpa.or.jp/nenshi/top.html</a>	
『日本語の歴史』山口仲美，岩波書店	3F 和開図書	810.2/YN・N	10+0184110	日本語の誕生とその表記の変遷史。日本語表記にまつわる数多くの変化に驚くこと必至。	
『日本語発掘図鑑：ことばの年輪と変容』紀田順一郎，ジャストシステム	3 和開図書	810.2/Ki12	11+0004195	文字がレイアウトされた誌面図版の数々を解説し、文字と表現の関係と歴史に思いをはせる。	
『20 世紀エディトリアル・オデッセイ：時代を創った雑誌たち』赤田祐一・ばるばら，誠文堂新光社	2F 和開図書	023.1/ay・N	10+0300954	80～90 年代は雑誌の黄金時代だった。多種多様な雑誌が担った文化を知る。	
『ベストセラーの世界史』フレデリック・ルヴィロワ，太田出版	2F 和開図書	023.0/RF・B	10+0270612	西欧の書物史とベストセラーの関係がよく分かる。ドンキホーテも当時のベストセラーだった。	
『横書き登場：日本語表記の近代』屋名池誠，岩波書店	3F 和開図書	811.0/YM・Y	10+0146907	日本の書籍、メジャーな雑誌は縦書きが定番。その理由は不明だが、本書がその謎を解く様々な視点を与えてくれる。	
『完本ベストセラーの戦後史』井上ひさし，文藝春秋	2 F 和開図書	023.1/IH・K	10+0301445	希代の作家・井上ひさしが解き明かすベストセラー。時代とベストセラーの関係が読み取れる。	
『巨怪伝：正力松太郎と影武者たちの一世紀』 上下巻，佐野真一，文藝春秋	2 F 和開図書	289.1/SM・S/ 289.1/SM・S/	10+0255468 10+0255469	新聞、テレビといまの日本を動かすメディアを作り上げ、さらには原子力の先駆けとなった正力松太郎の怪物的驚きの人物伝。	
『私の体を通り過ぎていった雑誌たち』坪内祐三，新潮社	2 F 和開図書	023.1/TY・W	10+0301448	青春時代、雑誌を読み漁って過ごすのは、いまや遠い昔なのか？ 輝ける雑誌時代のある青年像。	
『世界を変えた 10 冊の本』池上彰，文藝春秋	2 F 和開図書	019.9/IA・S	10+0300940	『聖書』に始まる世界史に残る 10 冊を現代への影響を含めてあの池上彰が解説する。	
『創刊の社会史』難波功士，筑摩書房	2 F 和開図書	023.1/NK・S	10+0300955	雑誌誕生の裏にある新たなライフスタイルを掘り起こすメディア力を探求。	
『老舗の流儀：戦後六十年あの本の新聞広告』南陀楼綾繁，幻冬舎メディアコンサルティング	3 F 和開図書	674.0/NA・S	10+0301444	出版に欠かせないのが新聞広告。見過ごされがちな本の新聞広告から見える新たな出版史。	
『書棚と平台：出版流通というメディア』柴野京子，弘文堂	2F 和開図書	024.1/SK・S	10+0235063	明治から始まる詳細な出版流通史。世界でも特異な出版流通を生み出した日本の歴史的背景とは。	
雑 誌 名・発 行 元	所在場所	請求記号	所蔵巻・所蔵年	ポイント	
『新文化』新文化協会	B1B 和開雑誌	053.6/E1	Vol.4 No.1・8<1938(S.13)>	週刊出版業界紙。記事を拾い読みすることで、いま出版業界で何が起こっているのかが実感できる。	

## 書籍・雑誌のデザイン

書 名・著 者・出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント	
『デザイン入門教室 [特別講義] 確かな力を身に付けられる ～学び、考え、作る授業～ (Design &IDEA)』坂本伸二，SB クリエイティブ	2F 和開図書	B	98+005467	「デザイン・センスがない」と悩む人は多い。しかし、デザインを「美的」にするのはセンスではない。「美的」に見せるルールが肝心なのだ。本書を見れば、それがはっきりとわかる。	
『レイアウトデザインのルール』オブスキュアインク，ワークスコーポレーション	2F 和開図書	021.4/OI・R	10+0274145	実際の雑誌を例に取り、デザインの基本に体系づけられた美的なレイアウトが実戦的に分かる。	
『マネするだけでエディトリアルデザインが上手くなるはじめてのレイアウト』松田行正，誠文堂新光社	3F 和開図書	727.0/MY・M	10+0300953	上記の本よりもさらに実戦的に書籍、雑誌のレイアウトを実例を見せながら解説する。	

## 著作権

書 名・著 者・出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント	
『著作権の世紀：変わる「情報の独占制度」』福井健策，集英社	2F 和開図書	021.2/HK・T	10+0242545	法律的な読みにくさを廃して、わかりやすい実例を使い著作権の基本など考え方を提示する。さらに新しい著作権の考え方にも言及している。	

## 表記、用字用語、校正

書 名・著 者・出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント	
『NHK 漢字表記辞典』NHK 放送文化研究所編，NHK 出版	1F 和参考書	816.07/NK・H	10+0300941	多種多様な日本語表記の中で放送系の標準として、表記に迷ったときの参考に。	
『記者ハンドブック：新聞用字用語集 第 12 版』共同通信社編，共同通信社	1F 和参考書	816.07/KT・K	10+0300931	多種多様な日本語表記の中で新聞系の標準として、表記の基本にする出版社も多い。	
『私家版差別語辞典』上原善広，新潮社	3F 和開図書	368.6/UY・S	10+0246387	辞典というよりは「差別語」をテーマにしたエッセイ。しかし、差別語は単なる意味で捉えるべきでないことをこの本で知るべし。	
『朝日新聞の用語の手引 新版』朝日新聞社用語幹事編，朝日新聞出版	1F 和参考書	816.07/AS・Y	10+0300932	多種多様な日本語表記の中で新聞系の標準として、表記に迷ったときの参考に。	
『日本語の正しい表記と用語の辞典 第 3 版』講談社校閲局編，講談社	1F 和参考書	811.0/NT・H	10+0300349	多種多様な日本語表記の中で出版社系の標準のひとつ。出版・編集コースではこれを表記のベースとしている。	
『新しい校正者の基礎知識』野村保恵，日本エディタースクール出版部	3 F 和開図書	749.43/NY・A	10+0236639	コンピュータを使った原稿作成、そして出版という時代に対応した校正とは？ これからの校正を学ぶための基礎知識。	
『日本語表記ルールブック 第 2 版』日本エディタースクール編，日本エディタースクール出版部	3F 和開図書	811.0/NH・R	10+0300944	薄く要点がまとまっている。まずはざっと日本語表記の概要をつかむのに取っつきやすい。	

#### 文章術

書 名・著 者・出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント	
『広告コピーってこう書くんだ!読本』谷山雅計，宣伝会議	2F 和開図書	M	98+0005171	奇抜な広告コピーの裏にある論理的かつ緻密な戦略を実感。タイトリングに応用するべし。	
『悪文：裏返し文章読本』中村明，筑摩書房	3F 和開図書	816.0/NA・A	10+0194842	悪文を実例に具体的に解説する文章術。名文より悪文を知ることの方が文章の欠陥に気づける。	